



本社

- 本社所在地：福島県いわき市
平字研町2番地
- 事業概要：コンピュータシステムの
企画/設計/開発/運用/保守
- 常時使用する従業員：377名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：38億円
(2025年10月期)
- 法人番号：3380001013670
- Web：https://www.eac-inc.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
鷺 弘樹

期待を超える価値を、未来へ

株式会社東日本計算センターは、「ICTサービスを通じ『社会とともに』『お客様とともに』『社員とともに』発展していくこと」を企業理念として、創業以来約60年にわたり、お客様と社会の発展に貢献してまいりました。AIを中心としたデジタル技術が今また社会を大きく変えようとしています。私たちの創業からのDNAは変化を恐れるのではなく変化を成長の機会と捉えています。現場力に支えられた既存事業をより進化させるとともに、AIをはじめとしたあらゆる最新デジタル技術を駆使して事業変革や新たな挑戦を行い、社会やお客様の期待を大きく超える価値を提供し続けます。私たちは社員と事業の成長によって100億円企業を実現し、さらに社会からの大きな期待に応える価値創造企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年の売上高100億円達成とともに、その後も持続的成長が可能な事業構造へと変革します。社員が業務活動を通じて自己実現を進め、地域社会や大切なお客様の課題解決を推進することにより、社員と共に成長し続けられる企業を目指します。

課題

1. AI時代に対応するための既存事業の変革・強化
2. 新たな成長基盤（新市場・新サービス）の確立
3. 継続的な安定収益基盤の確立
4. 業務ノウハウの知的財産化
5. AI時代における価値創造を行える人材の採用・育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

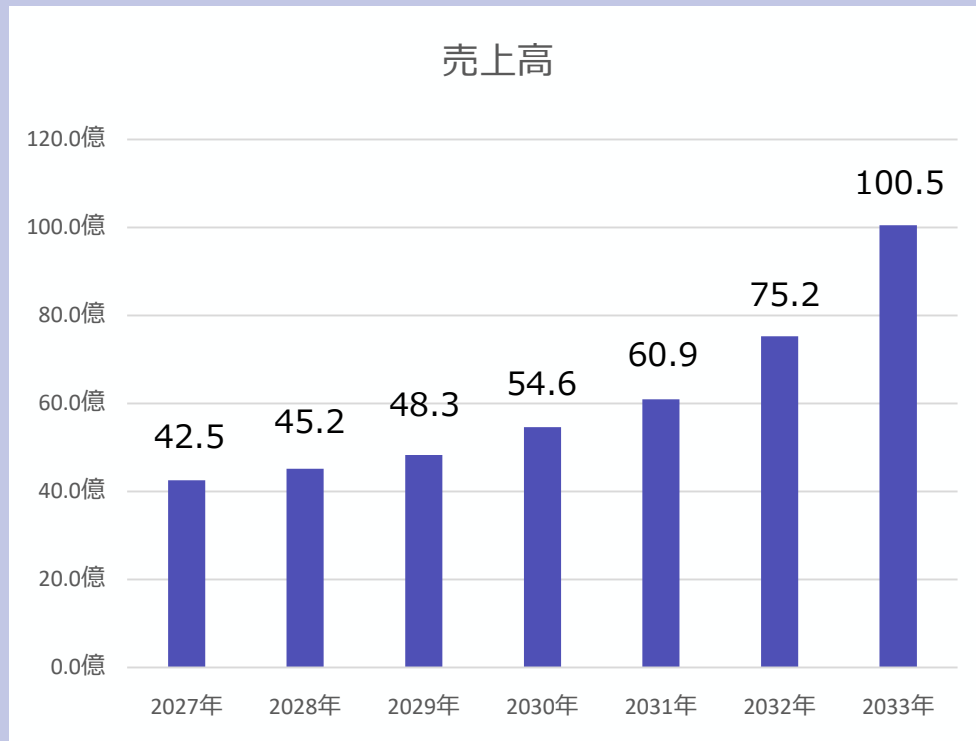
1. 既存事業の競争力を強化しながら、AI時代の事業構造へと変革する。
2. M&Aや新規事業創造などの積極的な投資を通じて新たな収益基盤を確立し、持続的成長が可能な事業構造へと変革を進める。
3. R&D、知的財産戦略の成果を事業強化に活用するとともに継続的な知の創造のための研究開発拠点を拡充する。
4. 事業間の連携と異動などにより、社内組織や人材の活性化を促進する。
5. 人材育成、品質・生産性の向上を通じて組織的能力強化を推進する。
6. AI時代に求められる創造力を刺激し、多様な働き方に対応できる環境への投資を行う。

実施体制

1. 経営トップのリーダーシップのもと、全社一丸となって売上高100億円達成に向けた計画を推進する。
2. 中期経営計画・年度事業計画と連動し、事業変革を確実に推進する。
3. 事業部門とコーポレート部門が一体となり、全社最適の視点で事業変革を推進する。
4. 策定した戦略毎に評価指標と目標値を設定し継続的な進捗レビューを実践し、計画の実効性を高める。

売上高100億円への成長ロードマップ

7年後の2033年に売上高100億円達成を目指す


Phase1（2027年～2029年）基盤強化・事業変革期（Business Transformation）

既存事業の競争力を強化しながら、AI時代に対応した事業構造変革を進める。

＜主な取組み＞

1. 既存事業の高付加価値化
2. インフラ・セキュリティ事業の強化
3. スtockビジネスの強化
4. プラットフォームビジネスの事業化
5. AI時代に対応した業務、開発プロセスの変革
6. AIソリューションの展開（新規事業1）
7. OT/IT連携ビジネス基盤の確立

Phase2（2030年～2031年）成長基盤構築期（Infrastructure Build）

新たな収益基盤を確立し、持続的に成長する事業構造へ転換する。

＜主な取組み＞

1. インフラ・セキュリティ事業の拡大
2. スtockビジネスの拡大
3. AIソリューションの拡大（新規事業1）
4. OT/IT融合ソリューションの展開（新規事業2）
5. IT商品仕入販売事業の展開（新規事業3）

Phase3（2032年～2033年）成長加速期（Growth Acceleration）

M&Aや新たな事業展開を通じて、企業価値を飛躍的に向上させる。

＜主な取組み＞

1. 新規事業の成長（新規事業1～3）
2. M&Aによる事業拡大（新規事業4）
3. 市場・顧客領域の拡大（事業展開地域を全国へ）
4. 次世代成長分野への投資